

参加者様
保護者様

大阪 YMCA

コロナウイルス感染拡大防止対策について

新型コロナウイルスに感染しない、させないよう参加する一人ひとりが留意しつつ、共に安全を創り出しながら活動してまいります。以下ご確認いただき、以下の事項に同意の上、ご参加をお願いいたします。

【活動参加にあたってのお願い】

1. 毎朝の検温及び健康チェックをしてください。下記の症状が見られる場合は活動をお控えください。
①発熱（37.5℃以上） ②倦怠感 ③呼吸器の症状（息苦しさ） ④喉の痛み
⑤咳 ⑥味覚感覚がない ⑦新型コロナウイルスの症状に当てはまるもの
2. 37.5度以上なくとも平熱より高く、体調不良を感じる場合も参加をお控えください。
3. 発熱が2日以上続いた場合は医療機関等にご相談いただき、医療機関から参加の承諾を得てください。
4. 発熱からの解熱後4日以内は、参加をお控えください。
5. ご家族、同居者の方に発熱や該当する症状がある場合は、参加をお控えください。
6. ご家族、同居者の方に感染している方や感染者への接触があることが判明した場合は、YMCAにご連絡ください。
7. ご家族等で感染拡大している地域や国からの帰国後14日以内である場合は、参加をお控えください。
8. プログラム参加中に発熱や該当する症状が見られた場合には、保護者の方のお迎えならびにご帰宅の手配をとらせていただきます。
9. 活動以降に体調の変化が現れた場合、YMCAにご連絡ください。
10. 発熱のご当人でなくても該当する症状が見られた場合には、事情によって各ご家庭においてPCR検査等を実施いただく場合があります。
11. 万が一、プログラム中及びその前後に新型コロナウイルスに感染した場合、感染したと考えられる場合、また感染したと推定される場合、その事から生じる一切の責任について大阪 YMCA が負わないことに同意しご参加ください。

【活動に際しての感染防止の取り組み】

1. 指導者は毎朝の検温及び健康チェックを行い、新型コロナウイルスの症状が認められないリーダーのみ参加します。
2. 毎朝の検温及び健康チェックをしていただきながら、活動4日前から「体調管理表（定例プログラム）・参加カード（特別プログラム）」へご記入ください。集合時受入れリーダーへご提示（定例プログラム）・ご提出（特別プログラム）ください。
3. 登山などの運動強度の高い活動や水辺、火を扱う等の安全管理上マスクを外す場合以外は、必ずマスクをご着用ください。リーダーはできる限りマスクを着用し活動に参加します。
4. 適宜アルコール消毒を行います。肌の弱い方やアレルギー症状のある方は、個別にご用意やご相談ください。

5. 水筒等の取り違えを防ぐために、必ず全ての物に名前をご記入ください。
6. 集合、解散はグループ毎に行い、活動終了後は速やかに解散できるよう緊急性の高い報告以外は現地では省略します。
7. 活動中は全体で集まることを極力避け、8～12名程度のグループ毎に活動します。
8. 子どもたち同士やリーダーとの距離等、ソーシャルディスタンスを保つことができるよう配慮します。
9. 飲食や炊飯プログラム前には手指消毒を実施し、手洗い、うがいは適宜実施します。
10. 野外料理プログラムの場合は調理器具や機材は消毒や流水での洗浄を行い、テーブルや調理台等は消毒を実施してから使用します。
11. 原則として指導者による配膳形式とし、大皿やビュッフェ形式での提供は行いません。（お弁当や個人炊飯食は該当しません）
12. 飲食の際は、距離など配慮しながら、座ることができるよう努めます。
13. タオル等の備品や飲食物の受渡し、回し飲み等の人と共有する行為を避けます。
14. 共有備品（ポール、コーン等）を使用する際はアルコール消毒を行います。
15. 傷病者へ接触する際は、手袋・マスクの着用を徹底します。
16. 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉し、処分します。ごみを回収する人も含め、実行後は手洗いや消毒を行います。
17. 公共交通機関（電車・路線バス等）を利用する際は、1車両に乗るグループ数を減らす、乗車中は窓を開けるなど対応します。
18. 貸切バス（大型・マイクロ等）を利用する際は、基本マスクを着用します。
19. 貸切バス（大型・マイクロ等）は感染防止対策を行っているバス会社を使用します。（空調システムによる外気との空気循環等）
20. 宿舎や部屋を利用する際は、窓・ドアの開閉など換気を可能な限り行います。また部屋、浴室、食堂等の1度に利用する人数を減らし密集を避けます。
21. 定例プログラム・特別プログラム・活動内容等によって上記該当項目は異なります。

【その他】

1. 感染防止策をとっていきますが、完全に防止できるものではなく、感染するリスクを下げる取り組みとなります。その観点から感染防止に対する心がけや対応、対策が、一人ひとりの自己保全能力を高め、自身で安全を創り出す体験へと繋がると考えています。
2. 新型コロナウイルスの感染防止を引き続き日常生活でも進められるよう、啓発活動を進めます。
3. 新型コロナウイルス対応に伴う差別やいじめが発生しないよう、啓発活動を進めます。

上記記載事項を同意の上、ご参加ください。

以上